

## 貼り絵de紙芝居

星の里・今津野の家 谷 有美

今津野の家では2016年から利用者さんの手作業として紙芝居の作成をサポートしてきました。紙芝居は模造紙サイズで、折り紙を小さくちぎり、下絵にその小さな折り紙を貼り付けて作成しています。

きっかけは地域の幼稚園との交流行事で、「肩たたき」や「歌の披露」など園児の元気な姿を見て、利用者さんは大変喜んでいました。今津野の家としても、何かもてなす事はできないだろうか、利用者さんと相談し翌年から紙芝居を作成する事にしました。ちぎって貼るという動作に加え、利用者さん同士で相談し役割分担をする姿も見られるようになりました。毎年模造紙10枚前後、発表時間5分のもを約半年かけて作成しています。交流会では利用者数名が読み聞かせをし、園児とともにキラキラ輝く笑顔を見ることができました。



▲役割を分担し貼り付けていきます

毎年4月「みつぎ子ども図書館」に作品を展示しています。また、今年の10月1日から29日まで尾道市立中央図書館でも作品を展示することになりました。

コロナウイルス感染拡大に伴い、現在幼稚園との交流は一時中断していますが、再開を願いながら作品づくりや展示は続けています。



▲金子みずぶさんの詩を作品にしました

## 2022 どんぐり工房カレンダー 収支状況

収入 3,006,510円  
支出 1,189,300円  
収益 1,817,210円

2022 どんぐり工房カレンダーをご購入いただきありがとうございました。

収益は全額、障害者施設で配分し利用者さんの工賃として支給させていただきました。

## 2023 どんぐり工房カレンダー制作開始!

すだちの家 新宅 記枝

尾道さつき会障害者施設を利用するメンバーの絵画作品を掲載した「2023 どんぐり工房カレンダー」の制作を始めました。今年は、尾道さつき作業所やむかいしま作業所で絵画講師をされている石川愛奈さんと一緒に、作品選定やデザインなど、10月の販売開始に向けて進めています。毎日の暮らしの中で心豊かになるカレンダーをお届けできるよう作成をしていますので、ご期待ください。



▲掲載作品の選定作業を行う様子

# さつき SATSUKI

第74号  
令和4年7月

発行 社会福祉法人 尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地  
TEL (0848) 37-7272  
FAX (0848) 37-9610  
http://www.satukikai.com  
E-mail:hoshinosato@satukikai.com

グループホーム「むかいしま荘」では、ゴールデンウィークにフルーツサンドを作りました。イチゴやマンゴーなどの果物を使い、見た目も味も最高のフルーツサンドができました。利用者さんからは「可愛くて美味しいね」と大好評でした。昨年度は、コロナ禍で予定していた行事の半分も実施できませんでしたが、今年度は利用者の皆さんと笑顔溢れる楽しい活動を行っていきます。

はしば かずき  
むかいしま荘 橋羽 一樹



## 寄付者一覧

(2022年1月～2022年4月 順不同・敬称略)

<寄付金> 吉田雅行 岡博 木梨一恵 匿名2名  
<寄付物品> 尾道さつき作業所保護者会 全国共済農業協同組合連合会 株式会社マリモホールディングス 亀山訓子 檀上真穂 大頭かおり 村上知城

## 編集後記

新シリーズ「新人職員紹介」はいかがでしたか?インタビューを受けた職員は緊張している様子でしたが、そんな初々しい姿も楽しんでいただきたいと思います。記事を読んだ方々が職員を身近に感じられる、福祉の仕事に興味を持つきっかけになればと思っています。 Y.S

## 74号の topics

- 児童発達支援センターエポック幼稚舎開所
- シリーズ 新人職員紹介
- 法人内事業所で生きた介護を学ぶ
- 貼り絵de紙芝居
- カレンダー作成・前年度収支

■ 法人本部・公益分野 ■ 高齢者分野 ■ 障害児・者分野 ■ シリーズ



尾道福祉専門学校  
TikTok



SATSUKI  
ONLINE STORE



尾道さつき作業所  
Instagram



手織り屋おのみち  
Instagram

# 児童発達支援センターエポック幼稚舎開所

～地域に開かれ選ばれるセンターを目指して～

児童発達支援センターエポック幼稚舎 かどの なおみ  
角野 直美



南東面外観



▲3階 廊下



▲1階 ホール

児童発達支援センター「エポック幼稚舎」は、発達障害のある子どもを対象とした療育支援を行うセンターとして、今年4月広島市西区にオープンしました。市の中心部に程近い便利な立地でありながら、小学校や中学校が隣接する閑静な住宅街の一角に位置しています。

施設の建物は、鉄筋コンクリート造 5階建てで、1階は、事務室や医務室、厨房、芝生のテラスなどがあり、2・3階が未就学児の療育エリア（毎日通園部門と並行通園部門）、4階が小学生以上の利用する放課後などデイサービスの療育エリアとなっています。5階は、保護者控室や各種研修室などがあります。その他、音楽療法や英語、習字など多様な学習を可能にするための十分な教室面積があるので、実施したい学習形態に応じた配慮を行うことができます。

「発達障害」のある子どもたちの療育にはコツや工夫が必要です。発達の状況や障害特性に合わせた関わりをすることや、発達障害のある子どもたちの強みに着目し、持っている力を十分に発揮してもらいながら、自分らしく成長することを支援していきたいと思っています。



▲療育活動の様子

## 新人職員紹介



くすみ あおい  
楠見 碧衣 さん

### 地域密着型特別養護老人ホーム星の里

#### Q1 この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください。

介護福祉士として働いている母から「大変だけどやりがいのある仕事だよ」と聞いて、私も将来、人の役に立つ仕事をしたいと思い、この仕事を選びました。

一日でも早く仕事を覚えられるよう一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。

#### Q2 趣味、隠れた特技は？

特技は小学生から大学生まで続けていたソフトテニスです。最近は運動不足なので趣味として何か体を動かすことを始めたいと思っています。



ささき かいと  
佐々木 海斗 さん

### 人事課

#### Q1 この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください。

大学時代に病気を患い、自分一人では生きられないことや健康でいられることがいかに奇跡の状態なのかを強く感じるようになりました。その経験から、少しでも多くの人役に立てる人間になりたいとこの仕事を選びました。

#### Q2 趣味、隠れた特技は？

趣味は読書で、好きなジャンルは推理小説や純文学です。自分の部屋の一面を図書館みたいにするのが夢です。

隠れた特技は、野球です。小学校1年生の頃から12年間野球をしていたので、野球の知識は豊富です。

## 法人内の事業所で生きた介護を学ぶ

～学校と事業所のつながり～

尾道福祉専門学校 佐藤 美穂

尾道福祉専門学校では、学生に現場から生きた学びを得てもらいたいと考え、法人内事業所でのアルバイトを紹介しています。今春は、7人の学生からアルバイトの希望がありました。昨年から特養新館でアルバイトをしている学生は、「以前から施設アルバイトに興味があり、1年生の時に職員から募集の話聞いて、決断することができました」(2年槇本純花さん)「環境整備のアルバイトをしています。利用者さんの過ごし方や、職員の関わり方、現場の雰囲気を見て学ぶことができます」(2年増岡杏さん)と話し、学校で勉強したことを実際に体験できることが充実感に繋がっているようです。

また、1年生の授業では、これから実習に行く施設を理解することを目的に、にしごこの家の職員が来校し、施設の説明をしました。コロナ禍に、現場で働く職員から施設での活動や支援の様子を写真と併せて聞くことは、介護現場を見たことのない1年生には興味深く、学習を深める時間になりました。

今後も、更に事業所と学校の繋がりを生かした取り組みを進めていきたいと考えています。



▲アルバイトをする増岡杏さん(左)と佐藤晴輝さん